

新人研修 急変時の対応を学ぶ

令和元年7月3日(水)、新人看護師15人に徳島文理大学で急変時の対応研修を行いました。内容は、BLS、気管内挿管の準備・介助と確認、急変時のフィジカルアセスメント、シナリオ患者への対応でした。インストラクター4人の指導のもと、いろいろな急変場面の演習を行い、観察のポイントや対応を学びました。新人看護師からは、リアリティを持った緊張感ある研修でわかりやすかったと好評でした。





研修を終えての感想

- ✚ 患者の全身状態を十分に把握し、小さな異常を早期に感じ取れるようになりたい。
- ✚ 確実な BLS と焦らず冷静に行動できるように、今後もすすんで研修に参加したい。
- ✚ 患者の変化に気づくということを意識して勤務をしていきたい。
- ✚ 急変に遭遇した場面でも今回学んだ事を活かし、自分にできることを見つけ実践していきたい。
- ✚ いざというときに動けるように、繰り返し学び確実な知識・技術にしたい。
- ✚ 普段からシミュレーションしておくことが大切であることがわかった。